

2つの安心で 在宅生活を支えます

住み慣れた地域で暮らしていきましょう



認知症高齢者等

GPS 機器購入費等補助金

《認知症総合相談窓口》

町地域包括支援センター（電話 72-0339）

行方不明になる可能性のある人の安全を確保するため、GPS 位置情報システムで位置情報が確認できる機器の購入またはレンタルにかかる費用を補助します。

【補助対象者】

町内に実際に居住している、行方不明になる可能性のある人を介護する介護者

【補助対象事業】

- ① GPS 機器等の購入費用
- ②その GPS 機器等と併せて使用する機器の購入費用
- ③ GPS 機器等をレンタルする場合の加入手数料や登録手数料
(月額利用料は対象外)

【手続き】

- ①申請書、見積書の提出
- ②補助金の交付決定
- ③GPS 機器等の購入、レンタル
- ④実績報告（領収書）の提出
- ⑤補助金の交付

【補助金額】

- 補助上限額：1万円
- 行方不明になる可能性のある人 1人につき1回



認知症高齢者等

事前登録事業

行方不明になる可能性のある人の特徴などを事前に町と黒坂警察署に登録することで、その情報を活用しできるだけ早く捜索活動を行い、早期発見・保護する事業です。

【登録対象者】

町内に実際に居住している、行方不明になったことがある人、行方不明になる可能性のある人

【登録内容】

- ①氏名、生年月日、住所
- ②身体的特徴（身長、体格など）
- ③医療・介護状況（主治医、ケアマネジャーなど）
- ④緊急連絡先
- ⑤全身写真を添付

安心して暮らしていきましょう。
お気軽にご相談ください。

【手続き】

- ①登録申請書、全身写真の提出
- ②町に登録
- ③黒坂警察署に登録（町が行います）



第108回 冬の入浴 ヒートショックに気をつけて その1

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



**冬場に増える入浴事故
その原因と背景とは**

今年は12月に入つて早くも雪が降りました。急に寒くなつたので、「温かいお風呂にゆっくり入つて、そのあとお酒でも飲もうか」と思つている方も多いのではないか。思つてはいるのでしょうか。

もちろん温かいお風呂は冬の楽しみでもあります。私の患者さんも、これまでにお風呂で亡くなつた方が2名おられます。2023年の統計では、浴槽での溺死だけでも約6,900人が亡くなつていまます。心臓発作などを含めた入浴中の急死の総数は、年間2万人近くと推計され

ています。これは交通事故で亡くなる人のおよそ3倍になります。

なぜこのように入浴中に亡くなる方が多いのでしょうか。その大きな要因として「ヒートショック」と呼ばれる現象が考えられています。ヒートショックといつても、やけどをするわけではありません。急激な温度変化によって血圧や脈拍が大きく変動することを指します。血圧が急に大きく上がつたり下がつたりすると、失神、心筋梗塞、脳卒中、溺水などを引き起こす原因になります。

ヒートショックの仕組み

皆さんのお風呂場はどうなっていますか。まず脱衣所はどうでしょうか。冷たい風が吹き込むような寒い脱衣所ではありませんか。それはとても危険です。寒い空気にさらされると、血管をぎゅっと縮めるため、

この血压の上昇は心臓にとって大きな負担になり、

心筋梗塞や脳出血の引き金になります。

次に、熱いお湯のたまつた浴槽に入ると、一気に血管が広がつて血压が急激に下がります。このとき一時的に脳への血流が減り、目の前が真っ暗になるような「立ちくらみ」が起ります。お酒を飲む方は「入浴してからお酒を飲む」を原則にしてください。

では、このようないかがでしょか。体温では元気だと思っていても、年齢とともに血管の動脈硬化は進んでいます。高血圧、心臓病、脳卒中、糖尿病、腎臓病、不整脈、脂質異常症などの持病がある方は特に要注意です。かかりつけ医で血压やコレステロールの管理を行い、必要に応じて血管の硬さ（いわゆる血管年齢）を調べてもうと、自分のリスクを知る手があります。私



いかがでしょか。思ひ当たりどころはありませんか。次回は、その具体的な対策についてお話しします。

測定し、リスクをチェックしています。